千代田中学校だより
自ら一歩前へ
一人ひとりが輝き
笑顔と感動があふれる学校
平成30年6月12日
第９号
校長　山田正彦

そんな「ひと」でありたい

先日の土曜日，陸上の記録会が行われ，その前の週の土･日には，郡選手権・芸北地区大会があり，運動部の県大会予選が全て終わりました。県大会への出場を決めた，男子バレー部・剣道部男子・サッカー部・陸上部のみなさん，おめでとうございます。県大会でまでたくさんの時間はありません。できることも限られるとは思いますが，チームや個人で目標を具体的にもち，頑張ってください。

ところで，今回の大会で私自身が感動したことを２つ紹介します。

１つ目は，バスケットボール部の大会でのことです。私は，今年度からバスケットボール部の部会長をしています。もちろん試合を見るのも初めてで，そのことを楽しみにしていました。スピード感やチームプレー等，どの試合もすごいなーって感じながら見ていました。その試合の中でも，千代田中学校と吉田中学校との試合は，強く印象に残りました。試合は接戦でした。とは言っても吉田中が絶えず若干リードしており，千代田中が追いつけばまた少し離されるといった繰り返しでした。そして，最終の第４ピリオド残り40秒あまり，得点は４点差で千代田中が負けていました。残り時間がどんどんとカウントダウンされる中，コートで走り回る選手からも，ベンチで声援を送る選手からも，「勝ちたい！」という強い気持ちが，ビンビンと伝わってきました。「最後のホイッスルが鳴るまで，絶対にあきらめない！」という気迫がガンガンと伝わってきます。まさに，「最後の最後まで力を出しきろう！」という千代中の生徒の姿を見させてもらいました。そして，残り２秒で同点に追いつき，試合は延長戦へ。その延長戦では接戦を制して千代中が勝ちました。なんだかドラマの一場面を見ているかのような感じで，ちょっと目頭が熱くなりました。「勝った」という結果もですが，バスケ部全員が最後まで全力を出し切った，その姿勢に，心から感動しました。きっとどの部活動も同じような姿が，各大会で見られたことでしょう。

２つ目は，陸上部の記録会でのことです。気温も湿度も上がり，競技をするにはなかなか大変なコンディションでした。そんな中，ゴールテープを切るその瞬間まで，歯を食いしばって頑張っている選手の姿に拍手を送りました。そんな各選手の頑張りにも感動はしましたが，それ以上に感動したことがあります。それは，千代中の男子選手が，熱中症気味になりながらもリレーを断念してスタート地点にでてきた倒れこんだときのことです。その場にかけつけ，「どうしようか？」の間もなく，自分達で意見を出し合ってテキパキと指示を次に脱ハたでっ少る数れ院むたっ生徒。額から汗を流しながらタオルをあおぐ生徒。「この前授業でやはこんで，足を高くしてい…」と息を切らせて氷を持ってきた生徒。私が指示を出す必要もなく，名の女子部員が協力して介抱してくれました。おかげで，倒れた選手も病まに行くことなく，救護室で少し休程度で回復できました。

こまし最近，学校内で気になることがりたずらすると」，「気にいらないことがからと，その人を無視する」などです。そんな仲間を，人を，不安にさせたり傷つけたりすることを，考えたり，行ったりするような「ひと」にはならないでください。仲間のため，のために頼りにされる，役立つ，な「ひと」でありたいものです。特うと，授業で教えるなんてことでなくても，床のゴミを拾いあげる，そんなことでいいのです。

この数名の女子部員がとった行動は，人である私にしても，感動したといり，頭が下がりました。すごいと，心から尊敬の気持ちを抱きました。

今回の便りは文字ばかりになりましたが，私も紹介したそんな生き方のできる「ひと」でありたいと思います。千代田中学校の生徒のみなさんも，そんな「ひと」であって欲しいと，心から期待しています。

文字ばかりだけど　最後まで読んでみて！